

学芸会盛会に終了！子供たちのこれからの成長に期待

長和小学校長 阿部 聖 司

10月19日の学芸会には、多くの保護者の皆様、そして地域の皆様にお越しいただきありがとうございました。たくさんのお客様を前に、緊張しながらも一生懸命発表する子供たちの表情は、すべての子供たちが輝いていました。皆様から頂いたたくさんの温かな拍手は、それまで取り組んできた努力と苦労を、自信と達成感・成就感、充実感という心地よい満足感へと変化させ、子供たちのこれからの意欲を高める大きなエネルギーとなりました。子供たちは学芸会に向けた取組を通して、そして学芸会での発表活動を通して、自分自身を伸ばす努力をし、演奏やせりふの呼吸を合わせるために周りを意識することの重要性を体感し、協力することの大切さを学びました。

どの学年も、子供たち一人一人の良さが発揮され、これまで学習してきたことが発表の中で随所にみられる、工夫された素晴らしいステージでした。全校合唱も元気良く、かつ強弱をつけて曲想をつかんだ素晴らしい歌声になりました。また、4年生以上の児童は係活動で裏方の仕事も担い、プログラムの作成や背景の張り替え、大道具・小道具の準備、アナウンスやスポットライトなど、自分たちが発表していない場面でも学芸会を陰で支えてくれました。行事をするためには、色々な形で役割を担う人がいること、そしてその役割をしっかりと果たすことによって、はじめてその行事が成功することも、係活動を通して学んでくれたことと思います。

学芸会という大きな行事を通してたくさんのことを学んだ子供たちが、今年度の後半でさらに大きく育っていく姿を楽しみにしています。

教師のいじめ問題から考える

連日、兵庫県で起きた小学校の教員による同僚の教員へのいじめ事件が報道されています。子供を教え育てる、教師としてあってはならない行動が、次から次へと明らかになり、しかも複数の教師が次々といじめの対象を変え、長期間にわたって行われていたことも伝えられています。「子供にいじめは絶対にしてはいけないということを教える立場」として、「学校は正義と公平を基本として安心して安全な場所を保障する」役割として、私たち教職員は、「いじり」と称していじめにつながるようなきっかけをつくってはいないか、誰かの欠点を笑いの対象にしてはいないか、今一度自分たちも振り返って考えてみたいと思います。



地域や保護者の皆様に支えられている学習活動

5月31日（金）に行った田植えから、4か月。10月1日（火）に本校PTAである八木沼さんの田んぼをお借りして、稲刈り体験を行いました。鎌を使うので、安全面を配慮し3年生以上の児童が体験しました。

田植えや稲刈りを体験できる学校はそれほど多くはありません。長和小の子どもたちは、環境に恵まれ、保護者のご協力を受けながら、貴重な学習活動ができています。お手伝いいただいた保護者の皆様、長靴や服装の準備をしていただいたご家族の皆様に、改めて感謝申し上げます。



長和商工会 図書贈呈式。ふれあい館と学校に本が寄贈されました。



PTA特別会計より今年も児童図書を購入しました！



習慣にしましょう！「読書の秋」です

前回お知らせしましたが、前期の学校評価（保護者アンケート）から、子供たちの読書時間が大変少ないことが分かりました。習い事や家庭内の予定など、子供たちや保護者が昔に比べて忙しくなっていることも理由に挙げられるとは思いますが、ゲーム、スマホ等の情報端末の発達とともに、本にふれる機会が減っていることもまた事実だと思います。

読書は学力だけでなく豊かな心も育みます。必ず親子で話題にいただき、読書の機会設定をお願いしたいと思います。

表彰されました！「芸術の秋」です

【第31回 MOA 美術館伊達児童作品展】

舟迫 埜乃花さん（6年）…金賞



【長和地区子どもを守る会「地域の安全に関する標語」入賞者】

賞	氏名	学年	標語
優秀賞	渡邊 萌南	5	左右見て わたれば安全 事故おきぬ
優良賞	岡本 珠莉	6	青信号 左右確認 気をぬかず
同	舟迫埜乃花	6	危ないよ 人けのない道 通らない
同	青木 タ	6	気をつけて 一つの油断が 事故のもと
同	八木沼歩翔	6	その油断 事故につながる 原因です
同	伊藤 かな	5	左右みて ストップをして 手をあげよう
同	栗橋 美音	5	不審者は 見えないとこに ひそんでる
同	菊地 恋音	5	気をつけて まわりを見ないと ぶつかるよ
同	佐竹 徠都	5	不審者は 近くにいるよ 気をつけろ
同	梶田 壮真	4	用水路 あぶない所 近づくな
同	角田 優菜	3	右左 しっかりみてから わたろうね